

令和五年度

一般選抜問題 二期

## 国語総合

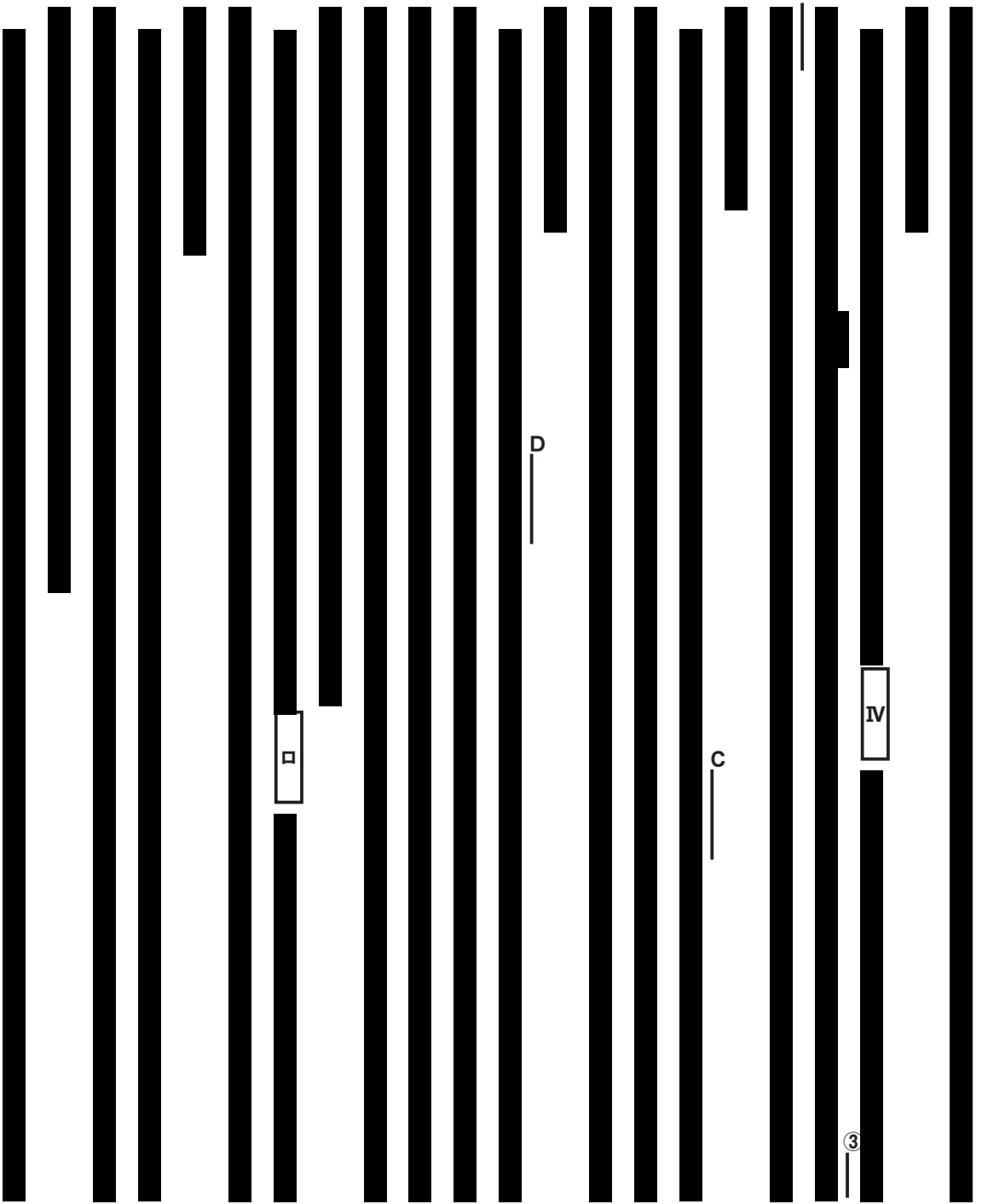
【試験時間 午前十時～午前十一時】

### 注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 二、国語総合の問題は一ページから十二ページまであります。
- 三、解答用紙は一枚です。
- 四、試験中に問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、落丁（ページの脱落）・乱丁（ページの乱れ）に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 五、問題冊子の余白等は自由に利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 六、試験時間は六十分です。
- 七、受験番号と氏名は、解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 八、解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 九、必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
- 十、問題冊子は持ち帰りなさい。

次の文章は、大黒達也『音楽する脳 天才たちの創造性と超絶技巧の科学』の一部分である（ただし、少し書き換え  
た）。読んで後の設問に答えなさい。（五十点）

The diagram shows a musical score with several staves. Some parts of the score are obscured by black bars. Annotations include: 'B' with a vertical line pointing to a staff; 'A' with a vertical line pointing to a staff; 'イ' in a box on a staff; '②' in a circle with a vertical line pointing to a staff; 'II' in a box on a staff; 'I' in a box on a staff; 'III' in a box on a staff; and '①' in a circle with a vertical line pointing to a staff.

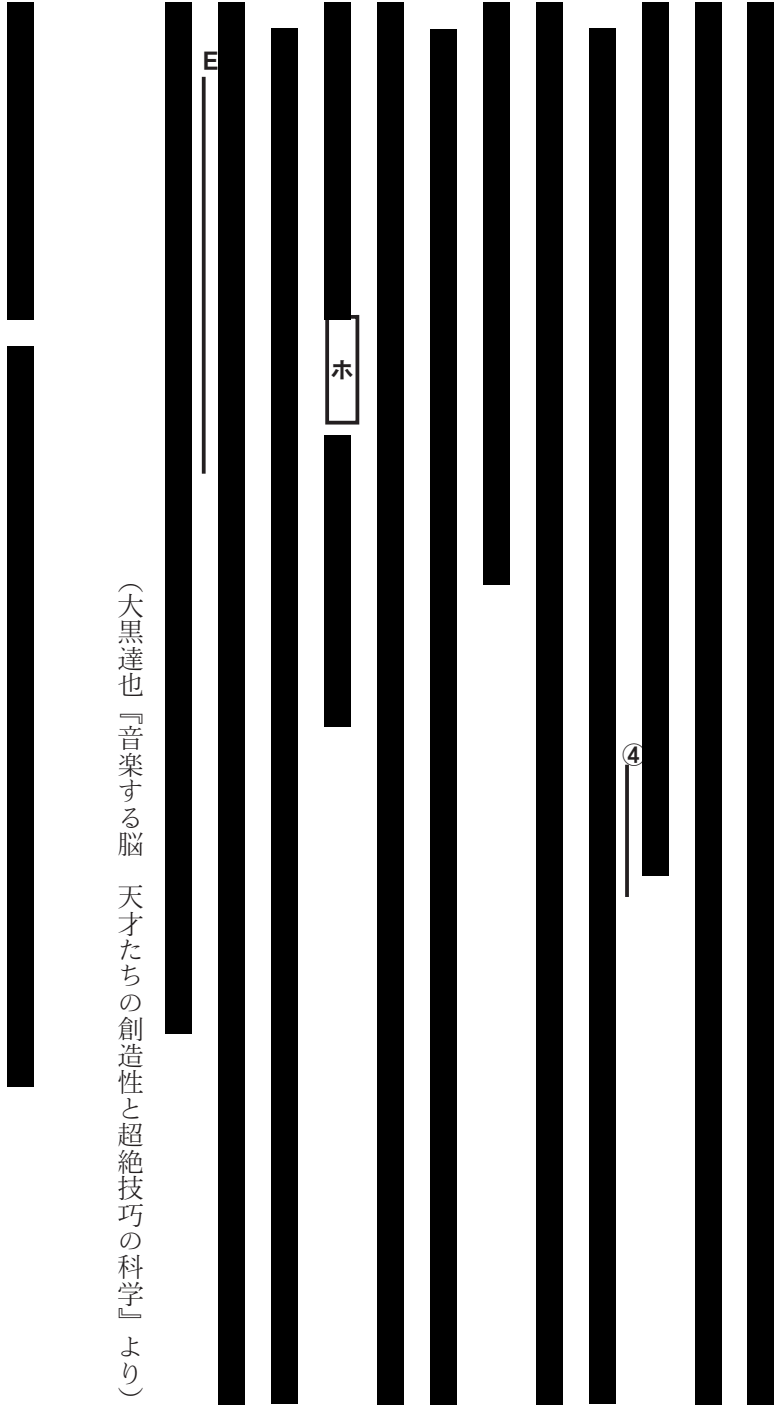


[REDACTED]

—

v

^



(大黒達也 『音楽する脳 天才たちの創造性と超絶技巧の科学』より)

問一 傍線部①～④について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄 **イ** ～ **ホ** にあてはまる語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい（ただし使用は一度のみ）。

- a なぜなら      b まさに      c それゆえ      d むしろ      e しかし

問三 空欄 **I** ～ **V** には「ソウソウ」と読む二字の熟語が入る。次の中から適する語を選び、それぞれ記号で答えなさい（何回使用してもよい）。

- a 想像      b 創造

問四 傍線部 **A** [ ] とあるが、なぜそのようなになるのか。本文中の言葉を用いて二十五字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問五 傍線部 **B** [ ] とあるが、この例としてふさわしいものはどれか。次の中から二つを選び、記号で答えなさい。

- a 知っているのと勘違いしているが、本当は知らないこと。  
b 自分か下手であることに気付いていること。  
c この分野では、自分の知らないことはないと考えること。  
d 自分の専門について、知ったかぶりをする事。  
e 知識がないことを自覚して認めること。

問六 傍線部 **C** [ ] と傍線部 **D** [ ] の違いを、本文中の言葉を用いて六十字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問七 傍線部 **E** [ ] とあるが、どのような能力のことか。それを説明している箇所を本文中から十九字で抜き出し、その最初の五字を記しなさい（句読点も一字に数える）。

問八 筆者は、「顕在学习」で得た記憶を「顕在記憶」、また「潜在学習」で得た記憶を「潜在記憶」と区別している。次の **a** ～ **e** は「顕在学习・顕在記憶」と「潜在学習・潜在記憶」のどちらにあたるか。筆者の論旨を踏まえて、表に書き入れなさい（ただし、一つの記号を両方に入れてはならない）。

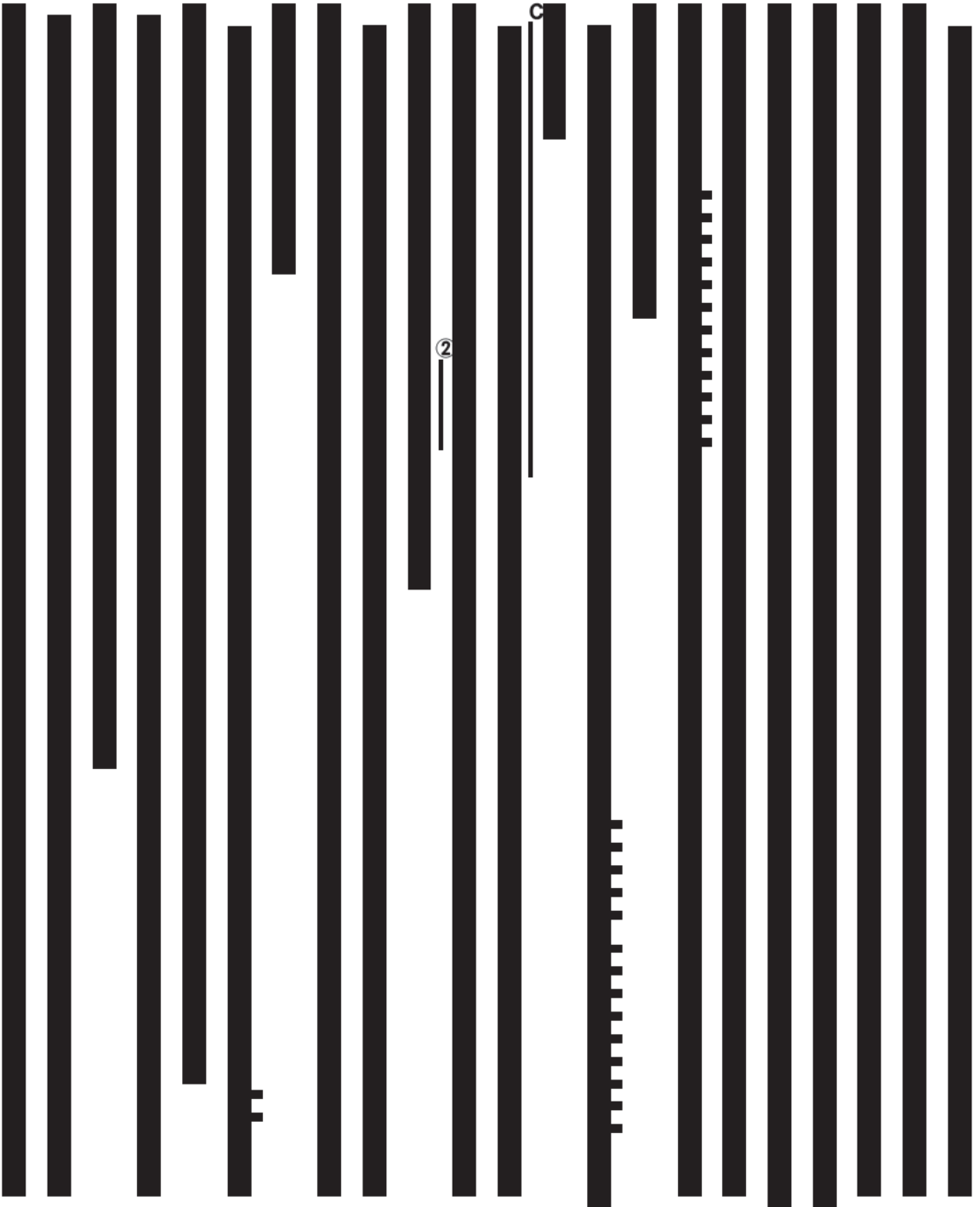
- a** 第二言語（外国語）の学習。
- b** 母語の獲得。
- c** テスト勉強の内容を思い出す。
- d** キーボードのブラインドタッチ。
- e** 旅行の思い出を振り返る。

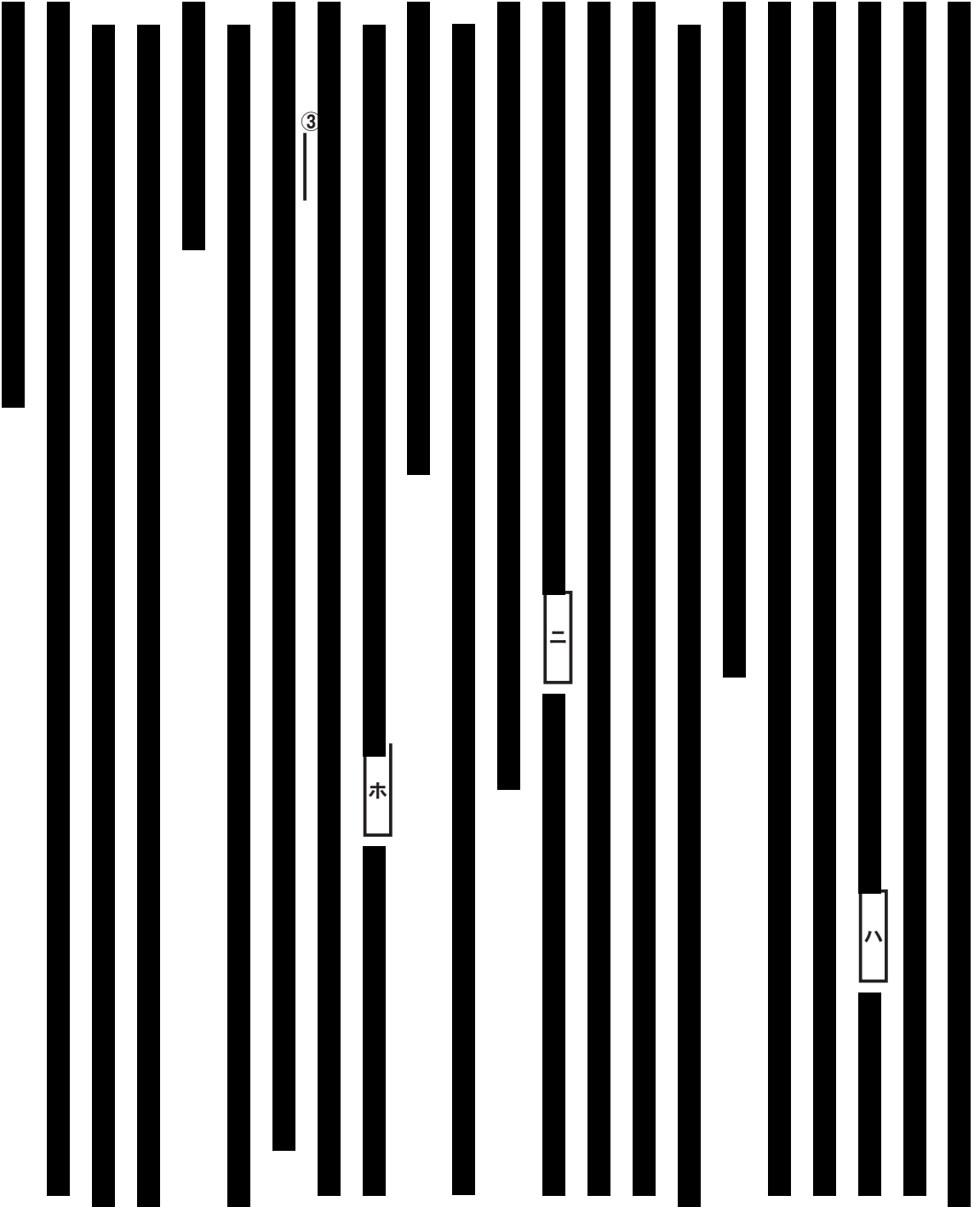
顕在学習・顕在記憶	
潜在学習・潜在記憶	

二 次の文章は、鹿毛雅治『モチベーションの心理学』の一部分である(ただし、少し書き換えた)。読んで後の設問に答えなさい。(五十点)

[Redacted text block containing vertical bars and labels A, B, and ①]







(鹿毛雅治『モチベーションの心理学』より)


④



D

問一 傍線部①～④について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄「イ」～「ホ」にあてはまる語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい（ただし、使用は一度のみ）。

- a ただ    b 確かに    c ひいては    d なぜ    e つまり

問三 傍線部A「」とあるが、これは具体的に何か。本文中から二十三字で抜き出して書きなさい（句読点も一字に数える）。

問四 傍線部B「、」とあるが、筆者の考えるよいフィードバックとは何か。本文中から四十六字で抜き出し、その最初の五字を記しなさい（句読点も一字に数える）。

問五 傍線部C「」とあるが、a～hの事例はこの4つのタイプのどれにあたるか。表に書き入れなさい（ただし、一つの記号を二つ以上のタイプに入れてはならない）。

- a 「君はこれが得意だね」  
b 「段階を踏んで、しかも順番通りにやったからできたんだね」  
c 「かなり上達したね、すごいよ」  
d 「最初の問題はあっているけど、次の問題はやり直したほうがいいね」

e 「五段階に分けてやってみるとうまくいくよ」

f 「君にはこれができるはずだ」

g 「はい、正解」

h 「一生懸命頑張ったからこんなに上手にできたんだね」

事例	タイプ	遂行フィードバック	動機づけフィードバック	帰属フィードバック	方略フィードバック
----	-----	-----------	-------------	-----------	-----------

問六 傍線部D「」とあるが、具体的にどういふ点が挙げられるか。本文中の言葉を用いて

百九十字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問七 文章全体を踏まえた上で、筆者の考えと一致すると考えられるものを、次の中から二つ選び記号で答えなさい。

a 失敗時に、当人がコントロールできない要因に原因帰属したほうが、モチベーションが高まりやすい。

b ほめることの本質は字面にあるのではなく、真価を認め、それを本人に伝えることである。

c ネガティブな「遂行フィードバック」は、「動機づけフィードバック」とあわせると効果的である。

d 「ダメ出し」の情報は、上級者のモチベーションを低下させる可能性がある。

e フィードバック情報は、すべてのほめ言葉に含まれているとは限らない。